

大分西部森林管理署交渉
(全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会)
議 事 要 旨

1 開催日時：平成27年5月20日（水）16：15～17：15（60分）

2 場所：大分西部森林管理署会議室

3 出席者：
大分西部森林管理署
秋山郁男署長、田代今朝広次長、古澤竜喜総括事務管理官（3名）

全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会
山本純也委員長、秋吉新二副委員長、穴井隆文副委員長
中山俊和書記長、橋本暁寛執行委員（5名）

4 交渉事項

- (1) 労働安全及び健康管理対策の充実について
- (2) 職員の労働負担軽減等の改善要求について
- (3) 宿舎の問題について

5 議事概要

(1) 労働安全及び健康管理対策の充実について

組合) 昨年度、当署管内の請負事業体で2件の災害が発生している。また、他署等の公務災害の傾向をみると転倒や滑落の災害が多い傾向にある。更には、管轄区域が広くなり官用車の運転時間も長くなっているが、安全対策についてどのように考えているか。

当局) 請負事業体については、様々な機会を捉え、発注者・契約者の立場から管内の事業体に対して更に指導を徹底して参りたい。

職員の安全対策については、人命尊重の上から極めて重要であり、事業の円滑な運営に不可欠と考えており、様々な機会を捉えて繰り返して指導していくことが重要と考えている。

組合) 職員の健康管理についてどのように考えているか。

当局) 職員が明るく仕事をしていくためには心とからだの健康が何よりも重要と考えている。職員への目配り・気配りを欠かさぬよう努めて参りたい。

(2) 職員の労働負担軽減等の改善要求について

組合) 主伐・再造林の拡大について、職員への負担を増大させないよう事業の実行体制を整備してもらいたい。また、主伐・再造林が増加するとシカ被害対策や苗木対策も必要となることから職員の労働過重とならないようにして欲しい。

当局) 現場の状況を把握し、収入確保に努めるとともに、シカ被害対策及び苗木対策についても関係機関と連携するなど、職員の負担軽減を図って参りたい。

組合) 林況の把握や巡視など通行に支障がある林道については、安全を確保する観点から整備に努めてもらいたい。

当局) 林道の維持・修繕については、車両の安全運行、適切な森林施業の実施という観点から重要と考えており、担当者及び請負事業体とも連携しながら対応して参りたい。

組合) 宿舎削減計画に伴い廃止される宿舎の財務省への引継ぎについては、厳しいスケジュールの中、担当者に過度の負担をかけることのないようにして欲しい。

当局) 財務事務所との折衝などは上局とも連携しながら対応して参りたい。

(3) 宿舎の問題について

組合) 宿舎の補修費用等については、不公平にならないようにしてもらい、入居者の負担が増加しないようにして欲しい。

当局) 退去時の原状回復等補修費用については、不公平とならないよう適正に対処して参りたい。

(4) その他

組合) 年休の完全取得、超勤の縮減対策、休日勤務の確実な振替、勤務時間管理の徹底を図って欲しい。

当局) 年次休暇については、取得しやすい雰囲気を作るためにも管理者や各総括等が積極的に取得することとしている。

超過勤務については、業務の進捗状況を把握し、業務の緊急性及び優先順位等を勘案し、事前命令の徹底、管理者間の連携、「定時退庁日」の声かけを図るなど、目配り・気配りを行いながら業務を進めて参りたい。